



### ゲストで終わるか、キャストになるか

テーマパークは好きですか？

テーマパークには、2種類の人があります。

ゲストとキャストです。

ゲストは楽しませてもらう側であり、「楽しいかどうか」は、用意されたもの次第。

一方キャストは自分たちで楽しさを作る側です。

学校にも「2種類の人」がいます。

「つまらない」「誰かが何とかしてほしい」「楽しくなったらいいな」というゲストの気持ちのままの人。

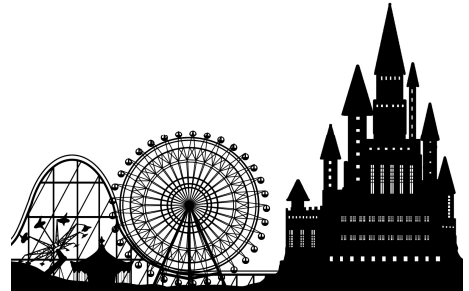
自分からあいさつをしたり、困っている人に声をかけたりする人。行事を盛り上げたり、クラスの雰囲気をよくしようとしたりする人。つまりキャストになろうとする人です。

みんなは今、中学1年生です。つまり、キャストとしてクラスの雰囲気や学年の空気を1から作っていくことができます。

楽しませてもらう「ゲスト」でいるか。

楽しさをつくる「キャスト」になるか。

あなたはどちらを選びますか？



### 対面式・オリエンテーションを行いました。

4月10日、2・3年生徒との対面式がありました。1年生のために生徒会執行部が計画し、準備してくれた企画です。1年生の代表、D組の安田多里さんが2・3年生に向けてのあいさつをしてくれました。附属中学校の「一員」になろうとする決意が込められたステキな言葉でした。以下に掲載します。じっくり読んでみてください。

令和八年四月、私たち新入生は鳥取大学附属中学校の一年生となりました。本日はこのような立派な対面式を行っていただきありがとうございます。

私たちは、これから始まる中学校生活に対する期待と不安を胸に抱きながら昨日の入学式を迎えました。小学校と違い、中学校では勉強する科目が増えたり、定期テストがあったりと、今までとは違う環境になり不安を感じています。が、一瞬一瞬の「時」を大切にしながら、附属中学校の一員として頑張っていけるように努力してまいります。また、新しい仲間との出会いや学校行事など、どんな中学校生活が待っているのだろうと期待や楽しみも多く感じています。学校行事や部活動に一生懸命取り組んでいる先輩方のよいところをたくさん取り入れて一生の思い出に残る中学校生活を送りたいと思っています。

まだ、私たち新入生は右も左もわからない状況です。どうか先生方、先輩方、温かい目で見守っていただき、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

令和八年四月十日

新入生代表 安田多里